

次号ラクスポ特集
楽園の格闘技
「鬼退治」
楽園崩壊
爆泣必至

クリスマス会 T筋温存

実は〇〇用



保育士魂にあっばれ
衣装や小道具は覚醒アイテムだ。身に付けければ普段の倍の力を発揮できるのだからこれらを作成する先生方は手を抜く事ができない。経費最少でビニールを衣装化してしまおうなんて、マジ最高ではないか？その技術、是非盗ませて頂きたいものだ。



田代保育のビッグイベントが開催された。天気は晴れ。天気は関係ないが。。。園児はどんな衣装で登場するのか、どんな振付で踊るのか、センターは誰に努めさせるのか。先生方のプロデュースの腕が試されるという意味では保育園にとっても大一番である。ビデオカメラ担当のツバサ先生は完璧なセンターカメラ具合で、保護者のカメラがセンターに位置する事は今後もないだろうと確信した。録画ボタンを押せば終了までそのまま立っているだけでいいという過酷な任務を任せられ、使いたくても使えない筋肉に「俺は立っているだけでいいのか？」と自問自答する事もあった。だが、たかが録画ボタン、押し忘れる事もある。当たり前前の事を当たり前に行し、録画ボタンを押して終了までそのまま立っているだけでいい任務を遂行できれば胸を張って「やりました！」と言ってもいいと思う。録画したデータがディスク化され、当日来れなかった関係者に配布されたかも知れないが、ただ録画ボタンを押して立っているだけではなく、後に粹なはからいを被せてくれるところに次期田代保育園園長の可能性を垣間見る事ができる。この日最後は録画停止ボタンを押して任務完了。だがここからツバサ筋（以降T筋）の本領が発揮されるお仕事。部屋の後方に押し込められた棚や机。指示されなくても既にご存知の保護者のお父さん方は顔を強張らせ、その傍らでT筋がヒクヒク笑う。持つところのがほとんどなく、やたらと重い棚を4人がかりで持ち上げ、棚の下部の角が足に当たって「いたっ！」とならないようにすり足で顔を真っ赤にしながら運んでいるお父さん方の向こうにステージのカーテンを外す筋肉な腕が見え隠れしていた。T筋は言う「棚をどかさずぐらいで俺を呼ぶんじゃねえ。俺はそんなに安かねーんだよ！ とりあえず今はカーテンを外すか

楽園雪景色

「ゾウ」がw
8:30時点での登園児4名

言っていたほど大雪ではなかった。登園すると園児は4名との事で、この日はいろいろと優遇されるのだろうと勝手に思った。この日寒さがピークになるとの予報を受け、前日に子ども達がおいてくれた色の付いた氷を見ると、なんと色の付いた氷が出来上がっていた。泰則園長とあつみ先生は色の付いた氷を見て「色の付いた氷やん」と思ったに違いない。色を付けたのだから色が付いていないはずもなく、ホッと胸を撫で下ろした朝8時半の雪の楽園であった。

このイベント名はおゆうぎ会なのか？クリスマス会なのか？という論争が毎回頭の中で繰り返されている。8年たった今でも結論は出ていない。ステージのタイトルボード自身が迷っている感がある。結局答えがわからないまま卒業となりそうだ。

RAKUEN SPORTS
2020年 12月19日 土曜日
ラクエンスポーツ新聞社
899-2311
鹿児島県日置市東市栄町8888-1
No.5号
<https://www.rakuspo.co.jp> ※このURLはなんちゃってです。